

安全データシート

SDS-900-rev2 発行日: 2024年1月2日

蛍光ポリマー微粒子

1. 物質の識別

1.1 製品名	蛍光ポリマーマイクロスフィア
1.2 製品識別子	FMB、FMG、FMO、FMOY、FMR、FMV、FMY、FMMG、FMCE、FMPK、
1.3 使用目的	FMOR、FMCL 産業および研究用途
1.4 サプライヤーの詳細	: スタンフォード先端材料 23661 バーチャー博士 レイクフォレスト、CA 92630 米国
1.5 緊急電話	: +1 (949) 407-8904

2. 危険源の特定

2.1 OSHA/HCSステータス

この製品は、OSHA危険有害性情報伝達基準（29 CFR 1910.1200）の物質または混合物の分類により危険物とみなされます。

可燃性粉塵

2.2 GHSラベルの要素

シグナルワード

警告

危険有害性情報

空気中で可燃性濃度を形成する可能性があります。

注意事項

熱、火花、炎を含むあらゆる発火源から遠ざけてください。容器は密閉し、アースに接続してください。爆発の危険性を最小限に抑えるため、粉塵の蓄積を防いでください。

2.3 他に分類されない危険

こぼれた物質は非常に滑りやすく、粉塵は刺激を引き起こす可能性があります。

3. 組成/成分情報

材料	CAS番号	% (重量/重量)
独自の添加剤	企業秘密	100%

4. 応急処置

4.1 応急処置の説明

アイコンタクト 多量の水で洗い流してください。症状が続く場合は医師の診察を受けてください。症状

皮膚接触 が現れた場合は、石鹸と水で洗い流してください。

吸入 症状が現れた場合は、新鮮な空気のある場所に移動してください。必要に応じて医師の診察を受けてくださ

摂取 い。症状が現れた場合は、医師の診察を受けてください。

4.2 重要な症状/影響（急性または遅発性）

高濃度の粉塵を吸入すると呼吸器の炎症を引き起こす可能性があります。

5. 火災時の措置

5.1 爆発

粉塵の発生を避けてください。空気中に十分な濃度で拡散した微細な粉塵が発火源に存在する場合、粉塵爆発の危険性があります。

安全データシート

SDS-900-rev2 発行日: 2024年1月2日

蛍光ポリマー微粒子

5.2 消火剤

乾燥粉末化学薬剤を使用してください。ウォータージェットは使用しないでください。

5.3 物質または混合物から生じる特別な危険性

微細な粉塵雲は空気と混合して爆発性の混合物を形成する可能性があります。

5.4 消防士のための特別な保護措置

あらゆる火災の場合と同様に、自給式圧力要求型呼吸装置（NIOSH 認定）と完全な保護具を着用してください。

5.5 備考

ほとんどの固体粒子状有機物質と同様に、本製品由来の高濃度の粉塵が空気中に浮遊すると、火花、炎、熱の存在下で爆発の危険があります。本製品を使用する機器や表面に粉塵が蓄積しないようにしてください。米国防火協会（NFPA）規格499では、「可燃性粉塵」とは、空気中に拡散すると火災または爆発の危険を及ぼす、直径420ミクロン以下の微細な固体物質を指します。使用場所で粉塵爆発の危険がある場合は、適切な電気機器および設備を使用してください。

6. 偶発的な漏出に対する措置

6.1 個人的予防措置、保護具および緊急時の手順

すべての発火源を遮断してください。危険区域では、火災、煙、または炎を放置しないでください。粉塵の吸入を避けてください。十分な換気を行ってください。この安全データシート（第8項）に記載されている安全な取り扱いに関する注意事項に従ってください。

6.2 環境に関する注意事項

漏洩物や流出物の拡散、また土壌、水路、排水溝、下水道への接触を避けてください。廃棄物は、連邦、州、地方自治体、および管轄当局の規定に従って処分してください。

6.3 封じ込めと浄化の方法と材料

粉塵は表面に堆積させないでください。十分な濃度で大気中に放出されると、爆発性混合物を形成する可能性があります。粉塵を空気中に拡散させないでください（圧縮空気で粉塵のある表面を清掃するなど）。防火工具および防爆機器を使用してください。こぼれた粉塵は、粉塵雲の発生を避けながら、シャベル、ほうきなどで回収してください。集塵用に承認された掃除機のみを使用してください。廃棄用容器に移してください。

7. 取り扱いと保管

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

粉塵の発生につながる取扱いは避けてください。粉塵の発生と蓄積を最小限に抑えてください。高濃度の粉塵の吸入を避けてください。職業上の暴露限度を遵守し、粉塵の吸入リスクを最小限に抑えてください。粉塵が表面に蓄積しないように、定期的な清掃を実施してください。乾燥粉末は、移送および混合操作中の摩擦により静電気を帯びる可能性があります。電氣的な接地やボンディング、不活性雰囲気など、適切な予防措置を講じてください。

7.2 安全な保管条件（不適合性を含む）

元の容器をしっかりと閉じて、発火源から離れた乾燥した涼しい換気の良い場所に保管してください。

安全データシート

SDS-900-rev2 発行日: 2024年1月2日

蛍光ポリマー微粒子

8. 暴露管理/個人保護

8.1 制御パラメータ

有害粉塵（別途規制されていない粒子）			
労働安全衛生局	許容暴露限界（PEL）	呼吸可能な分画	5mg/m ₃
		総塵量	15mg/m ₃

8.2 エンジニアリングコントロール

粉塵の発生につながる取り扱いは避けてください。局所排気装置を使用してください。本製品の取り扱いに関係する局所排気装置や材料輸送システムなどのすべての粉塵制御設備には、爆発防止弁、爆発抑制システム、または酸素欠乏環境を設けることが推奨されます。粉塵処理システム（排気ダクト、集塵機、容器、処理装置など）は、作業区域への粉塵の漏洩を防止するように設計されていることを確認してください（つまり、装置からの漏洩がないことを確認してください）。適切に分類された電気機器のみを使用してください。

8.3 個人保護措置（個人用保護具）

呼吸器の保護: 取り扱いによって粉塵が発生する場合は、物質の粒子サイズに適した呼吸用保護具を選択してください。

目/顔の保護: 化学ゴーグル。

皮膚の保護: 適切な保護服と手袋を着用してください。

9. 物理的および化学的性質

外観	様々な色の固体球状粒子 製品仕様ごと
相対密度	
軟化温度	製品仕様ごと
可燃性	空気中に拡散し、裸火、火花、静電放電、熱が存在すると可燃性の固体になります。
可燃限界	情報なし 情報なし 情報
自然発火温度分解温度臭気	なし 無臭
蒸気圧	情報なし 情報なし 情報
蒸気密度	なし 情報なし 不溶性
pH	
融点	
水への溶解度	
初留点	情報はありませぬ 情報
引火点	はありません

安全データシート

SDS-900-rev2 発行日: 2024年1月2日

蛍光ポリマー微粒子

蒸発率	情報はありせん 情報
分配係数	はありせん 情報はあ
粘度	りません

10. 安定性と反応性

反応性	通常の使用条件下では反応しません。通常
化学的安定性	の使用条件下では安定です。
避けるべき条件	粉塵雲の発生やあらゆる発火源を避けてください。静電気放電に対する予防措置を講じてください。物質を移送する前に、容器や機器を接地および接続して静電気を放電してください。粉塵の蓄積を防止してください。
互換性のない材料	酸化物質。

11. 毒性情報

可能性のある曝露経路	経皮、吸入
------------	-------

曝露の兆候と症状

アイコンタクト	目に直接触れると、一時的な機械的刺激を引き起こす可能性があります。症状としては、痛み、発赤などがあります。
皮膚接触	皮膚に直接接触すると、過敏症の方には感作を引き起こす可能性があります。症状としては、発赤、痛み、かゆみなどが挙げられます。
吸入	推奨曝露レベルを超えて吸入すると、咳などの呼吸器の炎症を引き起こす可能性があります。
摂取	誤って摂取する可能性のある量では有害な影響は予想されません。飲み込んだ場合、不快感を引き起こす可能性があります。

毒性データ

急性毒性	情報なし 情報なし 情報
皮膚腐食性/刺激性 重篤な眼の損	なし 情報なし 情報なし
傷/眼刺激性 呼吸器または皮膚の	情報なし
感作性 生殖細胞変異原性	

発がん性	発がん性物質として記載されていない (OSHA、NTP、IARC)
生殖毒性	分類するには情報が不足しています/分類できません
STOT-単回曝露	分類するには情報が不足しています/分類できません
STOT-反復曝露	分類するには情報が不足しています/分類できません
誤嚥の危険性	

12. 生態学的情報

毒性	情報なし
----	------

安全データシート

SDS-900-rev2 発行日: 2024年1月2日

蛍光ポリマー微粒子

残留性および分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性	情報はありません 情報はありません 情報はありません
-------------------------	----------------------------

13. 廃棄に関する考慮事項

廃棄物は、連邦、州、地方、管轄当局の規定に従って処分してください。

14. 交通情報

この製品は危険物輸送規制（DOT、IATA、IMO）の対象外です。

15. 規制情報

この SDS は、米国 OSHA 危険有害性情報伝達基準 29 CFR 1910.1200 に準拠して作成されています。

16. EU REACH遵守宣言

上記の製品には、1000PPM を超える濃度の REACH SVHC 化合物は含まれていません。

17. その他の情報

この文書に記載されている情報は、発行日時点の当社の知る限りにおいて正確です。ただし、この情報はすべてを網羅したものではなく、あくまでも参考情報としてご利用ください。製品の特性を保証するものではありません。